

くらし・福祉を  
ささえるまちへ



子育て応援します



# 北野のり子だより

\*議員団控室 Tel740-1811

\*日本共産党川西市委員会

川西市平野2-1-3

Tel792-2164

北野のり子の活動をお知らせ  
しています。

## 謹んで新春の ご挨拶を申し上げます

みなさまには、健やかな初春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げますとともに旧年中は、参議院選挙、市議会活動等にご支援、ご協力頂き厚く感謝申し上げます。

参議院でも多数の議席を占めた安倍政権が数の力で「秘密保護法」を強行しました。しかし、私たちの声を無視し突き進む安倍政権にこれまでになく怒りの声が上がっています。日本共産党と共闘する動きが発展し強行した翌日から撤廃に向けた国民の反撃が開始され広がりに見せています。

自共対決時代の本格的始まりという新たな情勢下で安倍政権と正面から対決し原発、TPP、消費税増税等あらゆる問題に対案を示している日本共産党と国民との共同をさらに広げるため力を尽くします。

新しい一年がみなさまにとって、飛躍の年となりますよう、お祈り申しあげます。



## 12月議会の報告

去る11月27日～12月20日、12月議会が開催され一般質問を行いました。主な内容の一部を紹介いたします。

**Q. 小規模急傾斜地崩壊対策事業を創設することを検討するべきではないか?**

急傾斜地崩壊防止工事は、急傾斜地の高さが5m以上あり、且つ、急傾斜地の崩壊により危険が生ずるおそれのある人家5戸以上、又は5戸未満であっても官公庁・学校・病院等に危害が生じる恐れのある場合という基準に該当しなければなりません。市内には、基準に該当しない急傾斜地崩壊危険箇所が多数存在し、対策が講じられないまま放置され、所有者に任せられているというのが実態です。また、急傾斜地の防災対策(地盤の安定化)は容易ではなく、相隣調整の難しさや費用がかさむことから所有者の自覚頼みでは改善は進みません。地域住民の命、財産を守るといふ観点からも市の事業として実施するべきではないか。

**A. 創設は難しい。現在、市内急傾斜地崩壊危険箇所数80箇所の内12箇所指定。残りの68箇所を優先的に進める。**

**Q. 65歳以上の高齢者を対象に成人用肺炎球菌ワクチン接種の助成を行うべきではないか?**

肺炎で亡くなるられる高齢者が年間11万人を超え、国の死亡原因の第3位となっています。肺炎は、高齢者にとって怖い病気の一つであり、予防接種を受けることが有効だとされています。

成人用肺炎球菌ワクチンについては現在、国の予防接種・ワクチン分科会において、定期予防接種化等について検討されているところです。高齢者の肺炎等への罹患・重症化を予防し、死亡者や長期入院者を減らすことで、国民の健康に関する不安の解消はもとより、医療費全体を抑制することにつながることから65歳以上の高齢者を対象にワクチン接種の助成が必要ではないか。

**A. 予防接種を受けることは有効である。国の状況、近隣市の状況を見て検討する。**

## 2014年度 予算要望書提出



日本共産党議員団は、2014年度予算要望書を提出しました。

12月16日、市長、総合政策部長と2014年度予算編成について懇談を行いました。(27項目の重点要求と分野別地域要求185項目を提出。詳細内容は、議員団HPに掲載。ぜひ、ご覧ください)